

そらこめ通信

No.85 2017年8月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

8月に入り、北海道では観光シーズンが早くも中盤を迎えております。弊社のほ場がある沼田町では、7月の「ほたる祭り」に続き、8月には「夜高あんどん祭り(8月25日、26日)」が開催されます。また、この時期、隣町の北竜町では「ひまわり祭り(8月20日まで)」が開催されており、150万本のひまわりが見ごろを迎えています。近隣の深川市では7月末に「深川夏まつり」と銘打ち、恒例の「しゃんしゃん傘踊り」とともに北空知管内唯一の花火大会が開催され多くの見物客でにぎわいました。お天気のほうも、肌寒かった6月とは違って変わり、真夏日が数日間続くなど7月は大変暑くなりました。十勝地方では、7月上旬に37℃を超える猛暑日を記録するなど熱波となり、全国ニュースに取り上げられたのをご覧になられた方も多かったのではないのでしょうか。猛暑日を記録した十勝管内池田町では、冬の寒さが厳しいことから防寒対策は進んでいるものの、暑さへの対応が遅れていたとのこと。役場庁舎にはエアコンがなく、職員たちは皆扇風機で暑さを凌いでいるという話がかかれていました。でも…、本州ならともかく北海道では室内にエアコンが付いていない建物はそれほど珍しくありません。なのに、この手の話が記事になってしまうと、読み手としては何となく刹那的でつらい(笑)。記者は何を伝えたかったのかな？その時の気温が常識を超えるほど高かったということでしょうか。確かに37℃は暑いけど(笑)。ただ、北海道の暑さは本州と違って一瞬で終わります。すぐに涼しくなり、寒くなりますから。それなら、逆手にとって暑い夏を楽しんだ方が得ですよ。

この好天に應えるように、ほ場では出穂が順調に進んでおります。今後の天候次第ですが今年も良い出来秋を迎えることができそうです。ありがたい話だ(笑)。



コスモスの種まきのようす～収穫は秋です(7月22日)



コスモスの芽が出てきました(7月24日)

ソバ畑～花が満開です(7月25日)

ソバの花は観光資源にもなります



機械による防除のようす(7月27日)

ダリア～「彩雪」(写真中)「ピンククオーツ」(写真右)(7月30日)



畦畔の草刈り作業(7月3日)

ダリアの出荷(7月4日)



穴が開いた畦畔のようす～見かけたらすぐに補修しなければなりません(7月18日)



出荷のために箱に詰められたダリア～淡いピンク色が特徴の「ピンククオーツ」という花です。ダリアの花言葉は「華麗」「優美」「感謝」など。「移り気」という花言葉もあります。



出穂真最中です～「ななつぼし」の圃場(7月30日)

羽を休めていたトンボを発見(7月30日)

ソバの花が満開になっています。ソバの白い花は個人的に好きな花のひとつでもあり、一面に咲いたソバの花は一見の価値があります。幌加内町では毎年そば祭りが開催されていますが、ソバの花を觀賞するツアーはあまり聞きません。白一色だから地味ですけど、観光資源としての価値はあると思っています。7月、8月は畦畔の草刈りと、花卉の出荷が仕事の中心です。北海道で生産される花卉は品質が良く、引きが多いようです。相場物ではありませんが、重要な収入源のひとつです。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 facebookによるブログ「生産日誌」更新中